

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人里山コミッション
テーマ名	中国労働金庫寄附 ～子育てや社会教育の推進～
事業名	スポーツダーツを通じた子どもの健全育成と高齢者の生きがいづくり事業
事業費(うち助成金額)	282,696 円(助成金額 250,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



R7・2・26 さつき会館 わらべの学校



R7・2・27 来島小学校 来島すこやかクラブ

■事業目的（250文字程度）

スポーツダーツは3人程度の団体で試合ができるほか、自分が投げるまでの待ち時間が長いなどマナー習得には最適なスポーツである。小学校区内の児童数が少なく、同級生が少ないことから低学年児童と一緒にできるスポーツであり、高学年児童が低学年児童を指導できるメリットもある。

今回、スポーツダーツを通じて、子どもたちの生活マナー習得、高齢者の働き場（生きがいづくり）、高齢者と子どもたちの交流を図り地域の活性化を促すと共に、子どもたちが地域とのふれあいを思い出として将来後継者として地域に定着することを目指す。

■事業内容（350字程度）

スポーツダーツを通じて、子どもたちの生活マナー取得、高齢者の生きがいづくり（働き場）を促す。また、交流試合での高齢者と子どもたちのふれあいにより、高齢者のもつ知恵や文化を子どもたちに伝授し、子どもたちには高齢者へのいたわりや町への愛着心を植え付ける。

- ① 放課後児童クラブでのダーツ交流の実施
- ② 高齢者サロンでのダーツ交流の実施
- ③ 高齢者と子どもたちのダーツ交流会（飯南町ダーツの旅）の実施

■事業成果と今後の展望（450字程度）

令和7年3月2日第1回飯南町ダーツの旅（交流会）を実施した。

参加者は高齢者6名児童4名と少数ではあったが、休憩時間には豚汁会食をするなど交流を図ることができた。

放課後児童クラブでのダーツ教室は7回、高齢者サロンとして1回実施した。

児童を中心に実施したが、令和7年度からは飯南高校生や地区住民を対象にダーツ教室を実施する計画である。放課後児童クラブでは高学年の児童が低学年の児童にルールを教えるなど、事業成果は大きいものがあった。